

飯能から箱根路へ



第35回 駿輝祭(オンライン配信)が 開催されました

本学の学園祭「駿輝祭」が、今年は10月30日(土)に無観客オンライン配信(YouTube Live)にて開催されました。

今年はコロナ禍でも開催できる方法を検討し、無観客オンライン配信での開催となりました。

同窓会・父母会共催の前夜祭として、「気象予報士/お天気キャスター」森田正光氏によるオンライン講演会の配信から始まり、「声優」梶裕貴氏のトークショー、お笑いライブ(ぼる塾、コマンドァンテ、モグライダー)などゲストを迎えての企画、サークル団体・ゼミの発表など盛りだくさんの内容でした。

Pick up!

学内からの生配信と、事前収録動画の配信を行い、サークル、ゼミ合わせて16団体が参加しました!

ロック研究会(バンド)



元代表 心理学部4年 宮島 羅維
活動としては約2年、ライブは約1年半できていなかった中、駿輝祭という最高の舞台上でライブをすることができ、とても楽しくやらせていただいたなと思いました! まだまだ満足には活動できませんが、また2年前のように活動できる日を願って、頑張っていきたいと思います!



WESH(ダンス)

代表メディア情報学部3年 齋藤 圭太
駿輝祭をご覧いただいた皆様、ありがとうございます。

2年振りの開催ということで、WESH一同気合いを入れて、準備、本番と臨ませていただきました。例年通りの活動ができず、時間の無い中、成功させることができ、とても嬉しく思います。今後ともWESHへの応援をよろしくお願いします。



吹奏楽部



モダンJAZZ研究会



ゆる(´・ω´)きり(コピーダンス)

会長 法学部3年 佐野 葵
駿輝祭でのゆるきりのステージをご覧いただいた皆様、ありがとうございました。
今年は練習時間も少なく、メンバーも私も不安ばかりでギリギリまで練習をしていましたが、無事にステージ上で皆と披露することができ、嬉しく思います。
一生懸命付いてきてくれたメンバーには感謝の気持ちでいっぱいです。



実行委員企画の「学食ランキング」、「視聴者参加型RPGゲーム」など視聴者参加型企画も、YouTubeのチャット欄を利用して盛り上がりました!



駿輝祭実行委員会

屋外部長 メディア情報学部3年 根岸 光

第35回駿輝祭は多くの方にご覧いただき同時接続数が255回、視聴回数は4,890回と想像をはるかに超える方にご覧いただきました。ご覧いただいた皆様、関係者の皆様へこの場をお借りして感謝申し上げます。

昨年度は新型コロナウイルスの影響により残念ながら駿輝祭を開催することができませんでしたが、今年度は2年ぶりにオンラインという形で開催することができました。

例年通りに活動ができない中、オンラインで楽しんでもらえるような企画を考え、新たに映像に特化したチームを編成するなど自分たちなりに試行錯誤し準備をしてきました。初めての試みということもあり右も左もわからない状態からのスタートでしたが学年関係なく全員で取り組み、時にはうまくいかず意見のぶつかり合いもありましたが、だからこそよりよい駿輝祭を作り上げることができたと思います。

今年度のテーマでもある「吉陽来福」の意味にもあるように駿輝祭が誰かの背中を後押ししたり、より良い世の中を次につながる光になれていたら幸いです。来年度以降の駿輝祭もご期待ください!





幼児活動研究会株式会社勤務

2017年 現代文化学部卒業

おの

あがし

小野寺

崇志さん

Profile

大成高校出身

2013年 駿河台大学 現代文化学部に入学

2017年 幼児活動研究会株式会社に入社

2021年 現在に至る

▶現在の仕事

私達の仕事は未来を担う子どもたちを「体操を通じて」育てることです。

体操を教える中で失敗しても諦めない姿勢、転んでも自分で立ち上がる力、頑張る友達を応援できる心など体操を「手段」として子どもの成長を促し大切さを伝える活動をしています。その為、課外活動の時には子どもたちと「約束」があります。例えば一つ目は「自分から挨拶をします」です。当たり前のことですが恥ずかしがり屋な子もいれば忘れやすい子もいます。できなくても怒らずやろうとしていたことを褒めたり、他の子をお手本として気づかせたりと子どもによって声かけや対策を考えます。沢山挑戦し「できた!」の成功経験から自信を持って卒園できるようにサポートします。

具体的な業務としては、毎日曜日ごとに契約している幼稚園・保育園に午前中は各学年体育指導を行い、午後は園庭やお部屋をお借りし、習い事としてスポーツクラブを行っています。対象は年少～小学6年生までで、主に縄跳び、鉄棒、跳び箱、マット種目などの体育指導、夏は水泳指導なども行っています。その他、遠足行事を企画していちご狩りやスキー合宿などのイベント事業もしています。

▶仕事の魅力や困難なこと

魅力は色々な幼稚園や保育園の子どもたち、先生方、保護者の方々と繋がれることです。

曜日毎に違う会場に行く為、その会場だからこそカラーを感じられることや色々な会場の先生となり、沢山の子どもたちと関わり日々学び成長できます。私自身が人と関わることが好きなので、幼稚園、保育園に行くたびに週一回の体操指導を待っていてくれる子ども達から「小野寺先生!」「体操早くやりたい!」など必要としてくれる誰かがおり、やりがいを感じています。

反面、毎日違う会場なので、担当する園によって地域が異なったり、出勤時間が異なったり、雰囲気やルール、関わる人が多くなる分、子どもや先生方など名前や顔を覚える大変さはあります。

▶駿河台大学在籍中のこと

在学時は現代文化学部スポーツ文化コースに所属しており、子どもの発育発達について学んでいました。私自身が色々なことに対して興味を持ちやすく、入学してから今まで行っているテニスを続けつつ、アルバイトもしたかったため、サークルを探していると2年次には3つのテニスサークル(うち2つでは代表となり、もう1つは学外のインカレサークル)に所属しました。アルバイトも地元のコンビニから始まり、テニススクールや個別のテニス教室などにかく予定を詰め込んでいました。

学業では元々教職を目指していたため、中高の体育免許の課程を履修し、夏休みには幅を広げるために学内の資格講座を受講して介護の資格を取得したりと忙しくするあまり家族が心配するほどでした。しかしこうした経験が生きて就職活動では面接でも興味を持ってもらえることも多く10社中5社から内定をいただき、楽しみつつ就職活動を行えました。在学時支えていただいたゼミの飯田先生やキャリアセンターの方々には特にお世話になり感謝の気持ちしかありません。

▶これからのこと、後輩へのメッセージ

私は在学時にたくさんの興味関心から行動に移したことで大変ではありますが結果的に様々な経験や知識を得て前に進んでいけました。

学生生活という限られた時間を有意義に過ごせるかは「今の」行動次第だと思います。「何がしたいのか」答えが出なければ出るまで色々なことに挑戦してみたり、人と関わったりと何事も一歩踏み出してみましょう! 1人では心細かったり勇気が湧かなければ友達や家族、大学、高校、中学校の先生など頼れる人を見つけて一緒に考えてもらうこと、背中を押してもらうのも一つだと思います!

大切なのは後悔しない選択をすることだと思います。何事もベストを尽くして人生を楽しみましょう! 学生の時に知った言葉で「勝利者は決して諦めない」という片腕の野球選手の言葉があります。学生時にはこの言葉を胸に進進していました。目標あるものに成長あります!

まずは目標を決めて一緒に頑張りましょう!



仲の良い同学部のメンバーと伊豆へ旅行に行った時



サークルの仲間と行ったタイ旅行



ゼミ合宿で伊豆大島に行った時

「就活応援サポーター」が活動を開始します！

公務員試験に合格した4年生や就職活動で企業・団体から内定を獲得した4年生の有志メンバーが「就活応援サポーター」を結成しました！後輩の皆さんに向けて、就職活動や公務員試験対策のアドバイスをオンラインイベントを通して発信していきます！「就活応援サポーター」の活動期間は10月から来年2月までの半年間を予定しています。3年生にとっては、この期間は就活・試験準備の重要な期間と言えます。内定・合格を決めた先輩達から情報収集をして自身の就活・試験準備に役立てましょう！また、1年生や2年生の皆さんにとっては大学の先輩と交流を深め、数年後に迫った就活や試験のリアルな話が聞ける貴重な機会です。この機会を有効に活用しましょう！



和田 京太郎

IT業界

メディア情報学部4年
埼玉県立秩父農工科学高校出身

大学生活の中で「新卒」という貴重なカードを使って就職できるのは3年生から4年生までのこの時期しかありません。自分自身がやりたい事を見つけて、楽しく働けるか。これが働くうえで一番の理想だと個人的には考えています。イベントでも個別でもどのような手段でも構いませんので、気軽に相談してください！後悔の残らない就職活動にしてもらうために、私自身も全力でサポートしていきますのでよろしくお願いいたします！



宮田 大輔

建設業界

経済経営学部4年
神奈川県立生田東高校出身

私は駿河台大学の学生の中で最も就職活動してきたという自負があります。3年生の7月から就職活動を開始し、100社を優に超えるさまざまな業界のインターンシップや企業説明会に参加しました。また、本やインターネット、先輩、キャリアセンターなど、あらゆる所から情報を集め、その情報を自分に最適化する作業にも全力を注ぎました。私がこれまでに得た就職活動の知識や経験を伝えることによって、皆さんの就職活動がスムーズに進められるよう、私も頑張りますので、気軽に相談してください。

キャリアセンターより

from the Career Center



岩嶋 翼

国家公務員(国税専門官)

法学部4年
関根学園高校出身

皆さんこんにちは！就職活動の状況はいかがでしょうか。不安や緊張、焦りなどが募り、苦しい時期かと思います。私自身も非常に苦労していたのを覚えています。しかし、皆さんは新卒で就活ができる

という幸せな状況に置かれていることを忘れてはいけません。新卒という就活の最大の武器を持っていることでチャレンジできることが沢山あり、自身を社会に売り出せる絶好の機会なのです。自信を持って頑張りましょう！



江尻 優和

小売業界

現代文化学部4年
堀越高校出身

私が就職活動で意識したことは、就職活動経験者を頼ることです。初めは私も何から始めたらいいのかわからず悩んでいましたが、経験者の方から就活体験談を聞くことは自己分析や面接のヒントと

なったので、就職活動の流れや全体像が明確になり、行動しやすくなりました。就職活動に不安や悩みを抱えている方は、就職活動経験者である我々就活応援サポーターを頼ってください。皆さんのお力になれるよう、精一杯サポートさせていただきます！



山崎 純弥

広告業界

メディア情報学部4年
青森県立大湊高校出身

広告映像プロダクションに内定が決まりました、山崎です。映像業界の選考は年明けからすぐに始まります。クリエイティブの業界は一般の会社とは違った就活の仕方が必要で、今までのセミナーで培ったやり方だけを使って突破できるほど甘くはないです。情報が少ない業界なので業界分析なども一人でやると苦労すると思います。私が最大手のプロダクション2社に内定した方法をすべて教えていきたいと思っているので、業界を目指す人は是非相談に来てください！



長谷川 歩美

地方公務員(警察官)

心理学部4年
新潟市立高志中等教育学校出身

「なにから手をつければいいのか
わからない!」と本格的に始まる就
職活動に向けて不安になっている方
もいるかと思います。私も同じくわ
からないことばかりで頭を抱えてい
ました。そんなときにはキャリアセン
ターの職員の方々や先輩
にぜひ相談してください。就活で情報収集は大切なものの1つ
です。自分から動けば、よりやりたい仕事に出会える可能性が高
まります。就活の必勝法は人それぞれです。自分なりの戦法で
就活を乗り越えていきましょう!応援しています!



小倉 碧

商社

現代文化学部4年
埼玉県立大宮中央高校出身

私は就職活動中、情報収集に力を
入れて取り組みました。たくさんの
企業の説明会に参加したことで、自
身の軸を見つけることができました。
また、悩んでしまったとき、友人
やキャリアセンターの職員さんなど、周りの方に相談に乗っていただ
いて乗り越えることができました。話を聞いてもらうことで、悩みが
軽減したり、相手の些細なひと言で新しい道が開けたりすることがあ
ると思います。皆さんの人生で1度きりの新卒での就職活動を悔い
なく終わられるよう、微力ながらサポートできるよう頑張ります!



川口 真衣

地方公務員(市役所)

法学部4年
日本大学豊山女子高校出身

私は人物重視の春の事務職試験を受験しました。試験内
容はSPI試験に加え、エントリーシート、プレゼンテーション
や個別、集団面接がありました。他にも、民間企業や教員採
用試験も受験したため、これらの経験を活かし少しでも皆さ
んの力になれるように精一杯頑張りたいと思います。些細
な心配事などからでも大歓迎です。気軽に相談していただくと嬉しいです。

就活応援サポーターの活動予定は、
キャリアセンターのホームページを
ご覧ください。

HP: <https://www.surugadai.ac.jp/career/>

Tel: 042-972-1131

E-Mail: syusyoku@surugadai.ac.jp



メディアセンター図書エリアの学生スタッフ

メディアセンターには3階および4階の図書エリアで働いている学生スタッフがいます。SLSS(Surugadai Univ. Library Student Staff)として学術情報課スタッフとの協働によるメディアセンター活性化の一翼を担うための活動を行っています。利用された図書を元の場所へ戻す作業や書架の整理、テーマ展示企画コーナーの準備などその業務の内容は多岐にわたります。ブログでも情報を発信しています。ユニフォームであるエプロンを身に付けて仕事をしていますので、是非声をかけてみてください。

ぜひメディアセンター
にお越しください!



もし何か聞きたいことが
あったら、気軽に聞いて
ください!



3階にスタッフおすすめ
の本を紹介しています。
ぜひ見てください!



学生スタッフ
ブログを
QRコードから
check!





グローバル教育センターより from the Global Education Center

長期派遣留学を目指している皆さんへ

新型コロナウイルスによる世界的なパンデミックにより、自由に海外旅行もできない状況が続いています。しかし、海外への渡航に制限がある状況であるがゆえに外国への憧れが膨らみ、語学研修や留学の再開を待ち望んでいる学生もいることでしょう。

2022年度長期派遣留学については、春学期の出発は中止され、秋学期の出発については海外の感染状況を見ながら適切な時期に方針を決定する予定です。海外での安全が確保できれば留学を再開させ、皆さんの夢を実現させたいのがグローバル教育センターの願いです。

長期派遣留学では、外国語学習だけでなく、現地の人々とのコミュニケーションや生活への適応が大切になります。長期派遣留学を目指している学生は、長期派遣留学が再開される場合に備えて、行きたい地域の言語や文化について学習を続けてください。また、留学先での費用もかかりますので、留学資金の準備もしておきましょう。

外国での留学生活では、楽しいこと、嬉しいこともあれば、大変なこと、辛いこともあります。留学経験者はこれらの体験を通じて外国語が上達するだけでなく、たくましい人間へと成長していきます。留学は人生のターニングポイントになり、生涯の大切な財産になります。ただし、貴重な財産を得るためには十分な準備が必要です。もしわからないことなどがあれば、グローバル教育センターのスタッフや留学担当の先生に相談し、サポートを受けてください。

グローバル教育センター長 朴昌明(韓国語担当)

留学の思い出

私は2007年9月から2008年11月まで、フランスのボルドー第3大学院に留学しました。留学中は大学院博士課程に在籍していたので、図書館を利用して研究活動をしていることが多かったです。

ボルドー第3大学院には「日本語学科」があって、そこに所属しているフランス人学生と知り合うことができました。彼ら/彼女らは、私がそんなに興味をもっていなかったような日本の文化に魅力を感じていました。「自分は日本についてあまりよく知らないでいたんだな」と反省しました。留学というのは、外国のことだけではなくて、自分の国や自分自身のことにもあらためて目を向けさせてくれるものだと思います。

週末の夜には、たびたびソワレ(パーティ)をしました。ですが、学生という身分でお金はなかったので、外食ではなく、だれかの部屋に飲み物や食べ物を持ち寄りしました。ボルドーは赤ワインが有名ですが、けっこう安い値段で買えます。これは本当に嬉しかったです！ソワレをしていると、だれかが知らない友だちを連れてきて、新しく友だちになる。今度はその人が新しい友だちを連れてくる。そうして、少しずつ友人が増えていきました。そのように友人と過ごした時間は、私の貴重な思い出です！(飲み過ぎたこともありましたがね……)

皆さんも機会があれば、留学しているような思い出をつくってほしいなと思います。

グローバル教育センター准教授 山下尚一(フランス語担当)

目的としての英語を手段に変えよう

～より高い目標のために～

留学を希望している学生は、その時点で、前向きな考えを持っていると思いますので、ひとつの成長の証だと思います。しかし、英語圏の国では、当然ながら英語でコミュニケーションをとらなければなりません。ジェスチャーでもある程度は通じますが、それで自分の言いたいことが本当に伝わるでしょうか？なかなかできないですよね。そのためにも、留学したいと思ったら英語の勉強に取り掛かりましょう！

その時に、留学先(または現地)を少しイメージしながら勉強してみてください。すると、皆さんの中で英語が「目的」ではなく「手段」であることに気がついていくと思います。どのような勉強をしたらいいかという「ヒント」や勉強の「モチベーション」にもつながるでしょう。モチベーションの更なる向上といえば本学の留学先です。ロンドン大学やカリフォルニア大学等の有名な大学が名を連ねています。これらの大学へ行きたいという目標をもった勉強は、より計画的になるはずですよ。

本学の留学基準であるTOEICスコアは385点なので、これから頑張ろうと思う学生にはうってつけのスコアです。ぜひこの機会にスコアを目指して留学への扉を開けましょう！そして、留学が決まったら、留学に不可欠な英語力をさらに強化して、より高いスコアを目指す等の目標を立てましょう。TOEICスコアと留学、目標への計画力を身につければ、きっと、就活時や社会人になった時に、留学の経験とともに役立つはずですよ。

グローバル教育センター助教 須永隆広(英語担当)

長期留学メモ

長期留学応募資格

1. 語学能力

■英語圏(TOEIC、TOEFL、IELTS、英検のいずれかの試験で基準をクリアすること)
【TOEIC】385以上、【TOEFL ITP】430以上、【TOEFL iBT】39～52以上、【IELTS】3.0～4.0以上、
【英検】2級以上

※希望する大学によりスコアが異なります。

■非英語圏

該当する語学の専任教員に確認してください。(選考応募時には、専任教員からの推薦が必要です)

2. 取得単位数(留学する前年度末までに取得しておく必要があります)

(例)3年次で行く場合:【法】80単位、【経】80単位、【メ】72単位、【ス】80単位、【心】72単位

※学年・学部により異なります。

※科目群ごとにも修得しておかなければならない最低単位数の要件があります。

3. 本学における成績のGPA(全学部・全学年共通)

2.5以上。

外国語担当専任教員

【英語】T.Rucynski准教授、島原知大講師、
須永隆広助教、S.DeHaven助教

【ドイツ語】明石真和教授、小林将輝准教授

【フランス語】山下尚一准教授

【中国語】葉紅教授

【韓国語】朴昌明教授

SUNDAI SPORT Information



陸上競技部 関東新人戦と日本インカレで駿河台旋風！

陸上競技部が9月に行われた「第32回関東学生新人陸上競技選手権大会兼関東学生リレー競技会」（関東新人戦）と第90回日本学生陸上競技対校選手権大会（日本インカレ）において、またも旋風を起こしました。

まず、10日（金）から12日（日）に相模原ギオンスタジアム（神奈川県相模原市）において開催された関東新人戦においては、5種目で優勝、4種目での準優勝を含む14種目で入賞という驚異の成績を残しました。

17日（金）から19日（日）にかけて熊谷スポーツ文化公園陸上競技場（埼玉県熊谷市）で開催された日本インカレでは、駅伝部からの出場を含め6種目で入賞しました。ブヌカジェームスナディワ選手（メディア情報学部4年）が10000mで2年連続の優勝を果たし、男子4×400mでは小清水悠介選手（現代文化学部4年・桜丘高校出身）、志賀優晟選手（現代文化学部3年・埼玉栄高校出身）、勝優虎選手（現代文化学部3年・川口市立高校出身）、杉田諒選手（現代文化学部3年・川口市立高校出身）のリレ



左から杉田選手、小清水選手、勝選手、志賀選手

一で3位、女子400mで後野詩衣菜選手（法学部4年・京都府立乙訓高校出身）が3位に入る活躍を見せました。

今回特に注目するのが、3位に入った男子4×400mリレーです。このメンバーは5月に行われた関東インカレにおいて4位の成績を取りましたが、日本インカレではさらにタイムを縮めて3位入賞をなしました。

この点について4年生の小清水悠介選手に聞くと、3つのポイントを挙げました。1つは邑木隆二監督の指導によるバトンパスでロスを省く技術の上達。2つ目は関東インカレの4位に満足せず、他大学の選手の走りに刺激を受け、むしろもっと上に行けるはずとメンバー全員で取り組んだチームの成長。リレー競技はチームの総合力が問われ、本チームでは出場メンバーだけでなく、スタンバイに回ったマイルメンバー、他部員も含めた陸上競技部の結束力が勝利に導いたと言います。そして、3つ目が、他の3人が最上級生の小清水選手を含むこのメンバーで臨む最後の大きな大会で、何としても勝ちたいとの思いで臨んでくれたことでした。実際に皆、ラップタイムベストを更新するほどの走りを見せ全国3位を勝ち取りました。

陸上競技は個人競技と思われがちですが、本学陸上競技部では、個人よりもチーム、出場選手だけでなく共に汗を流したマイルメンバー、そして部員全員の結束が、各種目でのこれだけの好成績につながったと言えるでしょう。

陸上競技は個人競技と思われがちですが、本学陸上競技部では、個人よりもチーム、出場選手だけでなく共に汗を流したマイルメンバー、そして部員全員の結束が、各種目でのこれだけの好成績につながったと言えるでしょう。



駅伝部 念願の箱根駅伝予選会突破 阪本大貴主将に聞く

来る2022年1月2日（日）、3日（月）に行われる第98回東京箱根間往復大学駅伝競走に駅伝部がチームとして初挑戦します。そのチームを主将として引張ってきた阪本大貴選手（現代文化学部4年・兵庫県立西脇工業高校出身）にお話を聞きました。

— 予選会は8位でした

監督も8位は予想していなかったようです。我々もこのタイミングで呼ばれるとは思っていなかったので、「駿河台大学」とコールされた時、一瞬「えっ」と間があいて、その後で大歓声で沸きました。

— レース中に順位などの情報は入るのですか

指示も含め、サポートメンバーがボードに書いてくれます。暫定順位が15kmで10位となった時はヤバいと思いました。同時に「余裕タイムはひとり1秒のみ」と出て、無我夢中で行きました。

最初に声をかけてくれた徳本監督

— 駿河台大学を選んだ理由

徳本一善監督にスカウトされました。高校2年生の秋の近畿高校コース陸上競技対校選手権で2位になったのですが、その際に最初に声をかけてくださったのが徳本監督でした。それまでは、陸上競技は高校でやり切るつもりでした。

— 練習は下級生の頃から変わってきていますか

指導内容は変わっていませんが、皆でできる練習のレベルは上がりました。「こんなことできないよ」が「箱根のためにはこれが必要」となりました。目的意識が変わったのだと思います。

— 4年連続で予選会出場の阪本主将から見て、今までと今年の違いは何だと思いますか

今年は、できることは全部やりました。これで負けたら仕方がないと思っていました。また、今年のチームは全員が同じ方向を向いています。以前は、必ずしもそうではありませんでした。

— 主将としてチームをまとめるのに苦心したこと

伝え方です。意図と異なる伝わり方がないように気を配りました。なぜやるのか、理由を説明して、理不尽にならないように努めました。特に下級生には、主将に直接話しかけられるよう笑顔を絶やさず、こちらからも声をかけました。

— いよいよ箱根です

目指してきた舞台ですが、ここが本当のスタートラインです。そのた



写真提供：月刊陸上競技

胴上げをされる阪本主将

めに、これまでやってきた練習を続けます。

— 目標を

襷を最後まで繋ぎきり大手町に帰ってくるという目標を立てました。順位としては、17位以上、できれば15位までいきたい。そして、後輩がシード権獲得まで行ってくれることを期待します。

— 徳本一善監督について

一般の方がイメージするよりはるかに優しく、そして選手以上に繊細です。また、誰に対しても面倒見がいい方です。言葉が厳しいので辛口に聞こえますが、その奥底には愛情があります。そして、その愛情がダダ漏れしています(笑)。

— 本日はありがとうございました。本戦頑張ってください。

* * *

「僕のことよりチームのことを書いてください」、インタビューを終えた阪本主将の言葉です。チーム一丸となって箱根路に臨む駿河台大学駅伝部の応援をお願いいたします。

駿大応援グッズにつきましては、駿河台大学ショッピングセンターにて取り扱っております！



vol.03

#映像の完成度は音によって決まります



メディア情報学部メディア情報学科

大久保 博樹 教授

専門分野：デジタルコンテンツ・マネジメント、映像音響論、情報文化

主な担当科目：「音楽情報処理演習」、「音響メディア論」、「現代社会とメディア」など

Profile

1962年4月生まれ。2000年学校法人日本工学院専門学校 非常勤講師。2001年駿河台大学 法学部 法律学科 非常勤講師。2007年駿河台大学 文化情報学部 専任講師。2016年～駿河台大学 メディア情報学部 メディア情報学科/駿河台大学大学院 総合政策研究科 メディア情報学専攻 教授。

大久保博樹教授についてもっと知りたい方は
本学ホームページをご覧ください。▶▶▶



専門分野・研究内容について

映画は「観る」と言います。マーシャル・マクルーハンが指摘したように、視覚に重きをおきはじめた人類は目から入る情報を優先しがちです。しかし、現代の映画は、私たちを取り巻く世界同様、見えるイメージと聞こえる音で成り立っています。映画の音には、人の声(台詞)、もの音(環境音)、音楽があります。この音によって映像の印象は変わります。同じ映像であっても、そこにつけられた音を入れ替えると印象が変わり、映像の意味にすら影響を与えます。例えば、海のイメージにどのような波の音をつけるかで、その海の意味が規定されるのです。このような映像の音の中で、私はもの音を中心に研究しています。映画やテレビでは効果音として扱われる種類の音です。波の音、風の音から肉を焼く音、足音、ガラスの割れる音など、私たちを取り巻くすべての音です。これらの音はノイズ成分なのですが、映画の中では意味を持つ効果音になります。それはなぜなのか。これが私の研究の起点です。何がノイズを効果音に変えるのかについて、専門分野を貫いている軸である「伝えること、伝えること」の視点から考えています。

休日の過ごし方や趣味

趣味が読書なので海外小説を読むことが多く、最近ではジョン・ル・カレやアーシュラ・K・ル＝グウィン、レイモンド・チャンドラーの作品を再読しています。原作を読みながら映画を見たりすることもあります。映画の脚本を書いたり、授業準備をしたり、論文を書いたりして過ごすこともあります。バスケ



ラジオドラマの効果音制作で招かれた朝日放送さんのスタジオ

トボールや野球などのスポーツもやっていたので、今でも身体を動かす時間はとるようにしています。インターバルを1分にしたラピッド式のウェイトトレーニングを60分ほどですが。

学生に向けてメッセージ

体育会の射撃部に所属して狙撃に取り組み始めた大学1年生のとき、真夏の太陽の下、7kgほどのエア・ライフルを片腕の拳で2時間近く支え続けるという訓練をしたことがあります。とにかく暑かったことだけは覚えています。映画監督になることを目指していたので、1年間に映画を100本観て小説を100冊読み、レコードアルバムを100枚聴くことを課していました。今振り返ると、充実した学生生活だったと思います。大学時代に取り組んだことが、ずっと自分の中で活かしていることもわかります。ありふれた言葉ですが、だから心から夢中になれることを見つけることが大切だと思います。それを大学で取り組むことができれば素晴らしいことだと思います。

PICK UP!

夢ナビライブ「駿河台大学教員によるミニ講義」の一つとして、大久保博樹教授の「音で世界観を作り出すということ」の講義動画(30分)が公開されています。ぜひ以下QRコードよりご視聴ください!

先生が目指すSDGs

